

わかやま wakayama 新報 SHIMPO

10月21日 水曜日

2020年(令和2年)第22282号
(日曜・祝日・休日翌日休刊)

紀陽銀行 WEB完結 マイカー リフォーム 銀行

目的ローン+

0120-600-964

0120-2100-2100 09:00-17:00

0120-2100-2100 09:00-17:00

0120-2100-2100 09:00-17:00

0120-2100-2100 09:00-17:00

発行所 株式会社和歌山新報社
〒640-8043 和歌山市徳町49番 和歌山中橋ビル4階

TEL (073)433-6111(代表) URL <https://www.wakayamashimpo.co.jp/>
FAX (073)433-5440 E-mail shimpo@titan.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00920-0-318834 寄

社中・取材のお問い合わせ………電話(073)433-6114 FAX(073)433-8830
広告・ホームページ制作のお問い合わせ………電話(073)433-6118 FAX(073)433-8111
ご購読・配達のお問い合わせ………電話(073)433-6112

月ごめ購読料 2000円(1部売り120円)

文化財と地域の信仰を守る

1/2倍 新「お身代わり仏像」最終審査へ

インベシオンによる新産業の創出やアイデアを促される方策などにより、社会や地域の課題を解決している自治体や企業の取り組みを表彰する「第8回プラチナ大賞」で、県立博物館が和歌山葉高校や和歌山大学と連携して実施している「お身代わり仏像」のプロジェクトが、最終審査発表会に選出の14件に残った。最終審査は22日に行われ、県内から3件目となる受賞に期待が高まっている。

— 第8回プラチナ大賞 —

今回、県が応募し博物館で保管する「保全し、地域住民のたのび」高松全・大とにより、文化財を信仰の場を守っている学生と創る「お身代わり仏像」Project「未来に伝える和歌山の文化財」。地域の宝である仏像などを盗難や災害の被害から守り、後世へと引き継いでいくため、3Dプリンターなどの最新技術を活用し、仏像レプリカを作成している取り組みで、「お身代わり仏像」として地域の神社に奉納し、実物は県立



有田川町の下湯川観音堂の観音菩薩立像(左が実物、右がレプリカ=県立博物館提供)

先進的な取り組みとして評価が高まっており、昨年9月に日本で初開催された国際博物館会議(I COM)京都大会でも紹介され、世界各国の研究者らの注目の的となった。プラチナ大賞の最

終審査発表会は22日に東京都内で行われ、プレゼンテーションと表彰の様子がインターネット上は https://youtu.be/18S_2g0k0 で中継される。県からは、博物館の伊東若朗館長、大河内博之主任学芸員が参加し、審査結果の発表には仁坂吉伸知事も出席する。

プラチナ大賞は、優れた取り組みをプラチナ社会のモデルとして紹介し、さらなる広がりへとつながることを目的とする。主催はプラチナ大賞運営委員会(委員長 増田寛也・東京大学公共政策大学院客員教授)、プラチナ構想ネットワーク(会長 小宮山宏・物三養徳合研究所理事長)。

県内からは、第5回の審査委員特別賞に「有田川エコプロジェクト」国民協同による循環型で持続可能なまちづくり。第7回の大賞・経済産業大臣賞に「柳リクルートと和歌山県有田市との2年間の取り組み」が選ばれている。

「お身代わり仏像」は、県内各地の神社に奉納され、実物は県立博物館で保管されている。レプリカは3Dプリンターで制作され、仏像の複製を可能にする。この取り組みは、文化財の保全と地域の活性化を促進する。また、3Dプリンター技術の普及も期待されている。

笑顔の大輪咲かせよう

息子が継いだもの

(135)

東が掛か った。27 歳だっ た。東京 かも来た 牛糞畑

「世界 創作、作家、そして大学 員教授。2017年春から和歌 山に引っ越してきている。 大学に就任。 ターに就任。 のコ